

米国総領事による救急部見学

4月6日（月）に、在京米国大使館のステイブン・マローニイ領事担当公使兼総領事及び在沖米国総領事館のジョザン・マローニイ副領事が、昨年11月に完成した本院の救急災害医療棟見学のため救急部を訪問しました。

救急災害医療棟内を見学したあと、自然災害時及び緊急時における本院の対応及び役割、英語対応できるスタッフの有無及び感染症及び伝染病（SARS等）による隔離病棟の有無等について質疑応答や意見交換をおこないました。



写真左より、久木田 救急部長、ジョザン・マローニイ副領事、ステイブン・マローニイ領事担当公使兼総領事、藤田 病院長



説明を受けるステイブン・マローニイ総領事と久木田救急部長



救急部スタッフと挨拶を交わすジョザン・マローニイ副領事



施設見学の様子



質疑応答及び意見交換の様子



写真左より、大学院生 関口看護師、近藤救急部副部長、安慶名さん（領事館スタッフ）、ジョザン・マローニイ副領事、ステイブン・マローニイ領事担当公使兼総領事、久木田救急部長、藤田 病院長